

議会だより



私たちの願いを聞いて（関連：P23）

- ◇ 平成26年度補正予算 …………… 2P
- ◇ 平成25年度政務活動費の報告 ……13P
- ◇ 委員会活動報告……………14P
- ◇ 一般質問6人の議員が熱弁 ………16P
- ◇ 町民の声……………24P

平成26年
第2回 定例会

[6月13日～6月18日]

中学生5人 視察研修に同行

東北放射光施設誘致に向けて



平成
26年度

各種会計補正予算
一般会計総額 135億970万円に

質疑者

色川 晴夫 議員

一般会計補正予算
(第2号)

主な内容

4月の人事異動及び共済組合負担金の負担率の改正等に伴う人件費等について補正するものである。

主な事業は次の通り。

●松島地区等避難施設整備事業（三十刈地区避難施設建築設計費及び長田地区等避難施設用地測量設計費）
2650万円

●備蓄倉庫整備事業（松島運動公園備蓄倉庫建設設計費及び手樽地域交流センターほか、備蓄用地測量設計費）
900万円

●耐震対策緊急促進事業（法律の改正により、対象事業者への費用助成）
1253万円

●松島第五幼稚園建設事業（建設資材・労務単価

等上昇による増額補正）
2500万円

●農業用施設災害復旧事業（震災による機能不良農業用施設（排水路）の災害復旧工事費）
6318万円

質疑

問 松島町東北放射光施設誘致協議会の視察研修に、中学生を同行させるようだが、何人でのように選考されるのか。

答 中学生5人、随行教師1人で、選考方法は中学校に一任し、夏休み明けに全校生徒の前で報告会をってもらう計画である。

問 子育て支援事業で備品購入費とあるが、当初予算では計画されていなかったのか。

答 前々から遊具を更新したかったが、交付金の通知が来たのが3月中旬

第五幼稚園建設 資材・労務単価上がる 2500万円増額補正



どんぐり内の子育て支援センター

で、3月末までに国に申請というスケジュールだったため、今回の補正という形になった。

問 緊急雇用創出事業で山林などの整備とあるが、どういった内容か。
答 竹林・山林の整備で山林の間伐、除草作業を実施する。山林整備については、町内の山林所有者に間伐等の希望を募り実施する予定。

問 幼稚園建設費の補正

が15%も増額しているが、それほど上がるものなのか。
答 建設物価調査会が出している建設物価が2月と4月に大幅改訂があり、建設資材・労務単価等上昇が2割から3割値上がりしたため増額をした。

問 今後、復興工事がいっぱい入ってくるが、他の工事も補正で着工が遅れることはないのか。
答 今回は、想定よりも

すごく短い期間で建設物価の変更があったためこのような事情になった。今後は、できるだけ補正で着工が長引かせないようになりたい。

賛成全員・可決

国民健康保険特別会計 補正予算 (第1号)

主な内容

4月の人事異動及び共済組合負担金の負担率の改正等に伴う人件費等について補正するものである。

賛成全員・可決

介護保険特別会計 補正予算 (第1号)

主な内容

4月の人事異動及び共済組合負担金の負担率の改正等に伴う人件費等について補正するものである。

賛成全員・可決

観瀾亭等特別会計 補正予算 (第1号)



第五幼稚園建設予定地

主な内容

4月の人事異動及び共済組合負担金の負担率の改正等に伴う人件費等について補正するものである。

賛成全員・可決

下水道事業特別会計 補正予算 (第2号)

主な内容

4月の人事異動及び共済組合負担金の負担率の改正等に伴う人件費等について補正するものである。

水道事業会計補正 予算 (第1号)

主な内容

4月の人事異動及び共済組合負担金の負担率の改正等に伴う人件費等について補正するものである。

賛成全員・可決

賛成全員・可決

念願の活動拠点完成

高城コミュニティセンター

集会施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

主な内容

高城公会堂に代わる地域コミュニティ活動の場として供されることから、高城公会堂を廃止するため、改正を行うものである。

項目を付けたが、施設を分割して利用できる集会施設は、高城コミュニティセンターだけか、それ以外あるのか。

〔答〕 高城コミュニティセンターだけである。

〔注釈〕

この質疑を通じて指定管理者の判断を左右する議案であるとの議会の指摘から執行部の議案書の訂正を認め採決となった。

賛成全員・可決



高城コミュニティセンター

指定管理者の指定

主な内容

高城コミュニティセンターの指定管理者の指定について、松島町高城區を指定管理者に指定するものである。

質疑

〔問〕 今ある高城公会堂等の取り扱い等についてどのような管理体制になるのか。

〔答〕 解体の予定である。ふれあいの家もあることから、新たな玄関をつくるため設計中である。

〔問〕 地域の団体が高城コミュニティセンターを使用にあつての料金体制はどうなるのか。

〔答〕 全部または一部減免について、指定管理者が判断して料金を納めることになる。

賛成全員・可決

質疑者

今野 章 議員

松島町町税条例の一部改正

主な内容

法人町民税の現行の法人税割の税率が12・3%から9.7%に引き下げられるものである。これは、地域間の税源の偏在性を是正し、財政力格差の縮小を図るため、法人税割の引き下げ相当分を創設された「地方法人税」として賦課徴収し、地方交付税の原資にされるものである。

軽自動車税については、車両区分に応じた現行の税率を原則を1・25倍または1.5倍に引き上げるものである。また、グリーン化を進める観点から、最初の新規検査から13年を経過した軽四輪車等は、概ね20%の重課を新たに定めたものである。

質疑

〔問〕 軽自動車税の税率の見直しより、どのぐらいの負担増が見込まれるのか。

〔答〕 軽自動車税については、車検、新規登録、年数によって異なるもので、まだ詳細は把握していないが、来年度は約100万円位増えるの見込んでいる。28年度以降は、つかんでない。

討論

反対

今野 章 議員

現在、最低税率の原付バイクについては、1000円を2倍の2000円に引き上げ、それ以外は税率を1・25倍ないし1.5倍に引き上げる内容である。自動車保有台数全体の約4割を占める軽自動車の税率を引き上げることは、交通の便の悪い地域、住民の通勤手段などに一層の負担を求めることになり、住民の足を奪うことになる。また、庶民増税につながり、消費税と同様に逆進性の強い税である。

賛成多数・可決

児童公園の設置及び管理に関する条例の一部改正

主な内容

復興交付金事業として整備を進めている2ヶ所の児童公園の工事が完了の見込となることから、町民の施設として供用開始するため条例を改正するものである。

質疑

〔問〕 城内の児童公園は、線路が近く、また、交通の問題、安全性等について、地域代表の方と管理も含め協議されたのか。

〔答〕 JRと接続している部分もあり、JRとはフェンスでの構えも含め協議した。また、管理については、区長と多くの方々に利用されるよう話し合っている。

賛成全員・可決

工事委託・工事請負契約の締結

質疑者

今野 章 議員
色川晴夫 議員
片山正弘 議員
赤間幸夫 議員
太齋雅一 議員
高橋利典 議員
小幡公雄 議員
櫻井 靖 議員

工事委託に関する協定の締結

主な内容

高城地区津波避難施設建設工事を仙台農業協同組合と工事委託協定を締結するもので契約及び財産の取得又は処分に関するものである。

○協定金額 2億4620万円（建設費 6億3380万円）

○協定の相手方

仙台市宮城野区新田東二丁目15番地の2
仙台農業協同組合

質疑

問 協定金額に上限金額を設けているが、変更する必要があるときの対応は。

答 経費負担について上限額を設けているが、突発的事故等が生じた場合その都度協議し費用負担を決定することになる。

問 共用部分は誰が管理するのか。

答 法定共用部分と規約の共用部分があり、仙台農業協同組合と取り決めていく。

問 何人ぐらい収容可能なか、また機能・性能から備蓄に関してはどうか。

答 320人の避難を想定している。備蓄倉庫は建物内に設けるが、それでも足りないので他の倉庫と兼用していく。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結一覧表

工事名	契約金額	工期
石田沢地区避難場所整備工事	3億5424万円	平成27年3月20日
三十刈地区避難場所整備工事	3億4128万円	平成27年3月31日
松島町児童館建設工事	1億5066万円	平成27年3月20日
松島町防災まちづくり広場（三居山地区）整備工事	6048万円	平成26年11月28日
復興まちづくり支援施設（パノラマハウス）建設工事	1億4828万円	平成27年3月20日
屋外多目的運動場建設工事	1億692万円	平成27年1月30日

ダンプ1万5000台ほどを通る?

石田沢地区避難場所整備工事

主な内容

松島地区を対象に、津波浸水区域の背後地に避難場所整備として造成工事を行うものである。

問 埋め立てに当たってダンプの通行台数は。

答 仮に期間が5ヶ月となれば一日百台分、十台で十往復となるが、日程調整があることから一概に何台とは言えない。

質疑

問 避難場所整備ですが施設建設について具体的な計画はあるのか。

答 備蓄倉庫、避難所の建設であるが、平時利用は地場産品の紹介・販売の出来る施設や観光インフォメーション的な建物として整理中である。

問 調整池の排水関係について周辺施設との協議はされたのか。

答 調整池からの出口はいやしの館側ではなく別の水路に流れる形となっている。

三十刈地区避難場所整備工事

主な内容

松島地区を対象に津波浸水区域の背後地に避難場所整備として造成工事を行うものである。

質疑

問 備蓄倉庫の位置については道路に近いところの盛土部分でも今の土木技術で十分対応できるのではないか。

答 復興交付金での避難場所に建設となることから安全性を考慮すれば切り土の部分となり、地区においても理解を得ている。

賛成多数・可決

松島町児童館建設工事

主な内容

児童の遊び場、子育て支援の拠点施設整備として実施するものである。

質疑

問 外回りに手洗い場がなく、玄関に入つての洗面コーナーも狭く衛生管理の問題から改善が求められるが。

答 手洗い場について検討していく。

賛成全員・可決

松島町防災まちづくり広場(三居山地区)整備工事

主な内容

本郷地区周辺の防災拠点施設としての防災広場整備として造成工事を行うものである。

質疑

問 防災まちづくり広場の配置図等について事前に区民への説明を行っているのか。

答 整備工事の具体的な内容まで協議した経緯はない。

問 地域住民が利用しやすい整備であるべきと思うが。

答 内容について早急に区へ説明する。

賛成全員・可決

復興まちづくり支援施設(パノラマハウス)建設工事

主な内容

西行戻しの松公園内に災害時の住民や来訪者等の安全確保とともに地域活力の復興に向けての建設工事である。

質疑

問 パノラマハウスの運営は委託と指定管理で協議中となっているが、内容について伺う。

答 単独の条例制定に向けて進めている段階であり指定管理の選定医委員会を開いて広く公募してくことになる。

賛成全員・可決

屋外多目的運動場建設工事

主な内容

現在閉鎖しているB&G海洋センターを解体しスポーツ練習場として利用できる環境整備である。

賛成全員・可決

大郷町の公の施設に関する協議

主な内容

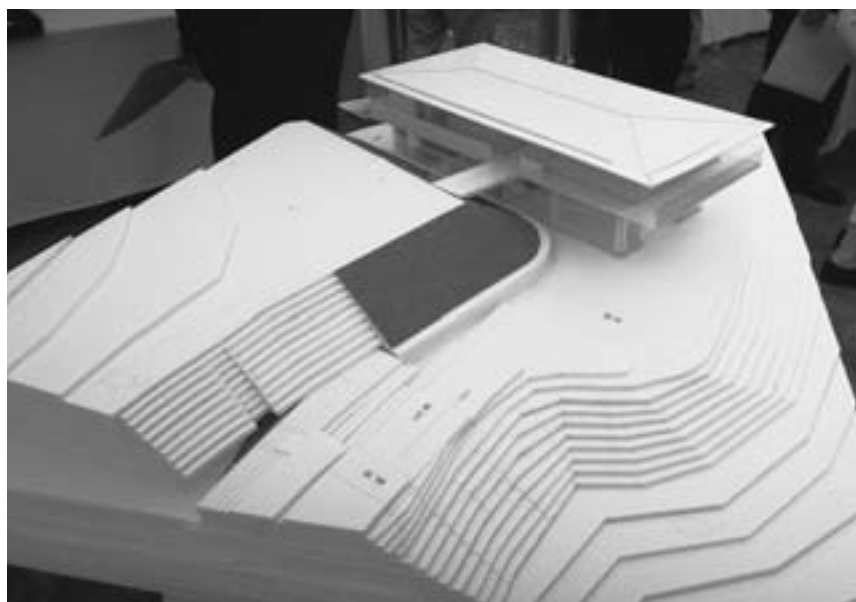
大郷町住民バスの「バス停留標識物」を松島町高城字帰命院下一9番地の1(松島町役場)に設置するものである。

質疑

問 大郷町住民バスを松島町民が利用可能なのか伺う。

答 松島町の住民に関して利用できるが、大郷町の住民と比較して大人で100円、小学生で50円高くなる。

賛成全員・可決



パノラマハウス模型

人事

人権擁護委員
.....同意

○桔梗 元子氏 66歳
(松島町高城)

○零石 和男氏 62歳
(松島町手樽)

○佐々木勝義氏 57歳
(松島町竹谷)

松島町入札監視
委員会委員
.....同意

○赤石 雅英氏 57歳
(塩釜市)

○石垣 政道氏 66歳
(松島町磯崎)

○泉田 成美 49歳
(仙台市)

○武田 三弘氏 47歳
(利府町)

○豊田 耕史氏 47歳
(仙台市)

農業委員会委員
の議会推薦委員
2名を選任

○只木 幸子氏 56歳
(松島町幡谷)

○赤間 善弘氏 42歳
(松島町幡谷)

・平成18年9月1日認定
農業者
・J A 仙台松島青年部会
員

まめ知識
農業委員会の
職務

農地等の利用関係の調整、農地の交換分合その他農地に関する事務を執行する(地方自治法第202条第4項)ことである。

平成26年第1回
臨時会
4月17日

富山駅踏切を移設拡幅

平成27年3月完成を目標！

質疑者 赤間幸夫議員、小幡公雄議員、今野章議員、色川晴夫議員

専決処分承認3件 財産取得・工事委託協定締結

平成26年第一回臨時会
が、4月17日に開催され
ました。

提出された議案は、専
決処分承認3件、財産
の取得、工事委託の協定
締結、その他議案2件で
原案どおり可決されまし
た。

工事委託に関する協 定の締結

主な内容

東日本大震災復興交付
金事業の避難道路整備に
係る、仙石線陸前富山構
内富山踏切移設拡幅工事
を東日本旅客鉄道株式会
社仙台支社と工事委託協
定を締結するものである。



富山踏切

国民健康保険税条例の一
部を改正するものである。

これまで後期高齢者支
援金等課税限度額14万円
を16万円に、介護給付金
課税限度額12万円を14万
円と改めるものである。

更に低所得者に係る保
険軽減の拡充として、
被保険者の数に世帯主を
含めることや被保険者の
数に乗ずるべき金額を35
万円から45万円に改正す
るものである。

質疑

問 条例の改正に伴い恩
恵を受けることになるも
の軽減措置が小さ過ぎ
るのでは。

答 国保の世帯2371
世帯、軽減世帯では約
59%が5割、7割、2割
に該当しており、かなり
軽減世帯が多い。

問 国保税の滞納者数と
額は。

答 本年3月31日時点で
7割66人、5割12人、2
割30人であり、全体とし
ては255人の約一割に相
当する。額としては、現
年課税分に対し約400

0万円が未納となっている。

討論

反対
今野 章議員

今回、軽減世帯の
拡大が図られるものの、
対象世帯数は176世帯
で加入世帯の7.4%、現年
課税額約3億3500万
円に対して757万円の
軽減で、その割合は23%
程度である。

国保税が高いというこ
との根本原因、国保運営
の困難の根本原因は、医
療費に対する国庫負担率
の後退にある。従って、
国に対し、国保に対する
国保負担率を大幅に引き
上げさせて加入者全体の
負担軽減を図ること、保
険料の引き下げを行うこ
とを申し上げ、反対の討
論とする。

賛成
後藤 良郎議員

後期高齢者支援金
等課税額に係る限度額、
あるいは介護給付金課税
額に係る限度額がそれぞ
れ2万円上がるが、一方
で5割軽減世帯、2割軽減世
帯が拡大されたことを是

として賛成の討論とする。
賛成多数・可決

松島町町税条例の一 部改正

主な内容

地方税法の一部の法律
改正に伴う改正である。
固定資産税における課
税標準の特例割合を条例
で定める地域決定型地方
税特例措置としての導入
対象資産に定めたもので
ある。

質疑

問 大規模建築の基準と
して面積等は。

答 病院等ということ
でホテル・旅館等であり、
3階以上、5000㎡以
上を対象である。

賛成全員・可決

松島町都市計画税条 例の一部改正

主な内容

地方税法の一部の法律
改正に伴う改正で、条例
の規定で引用している地
方税法の条項の項番号の
ずれを改めるもの。

賛成全員・可決

財産の取得

主な内容

東日本大震災復興交付金事業の中で、東浜地区避難場所整備に必要な土地を松島町津波避難計画に基づき、全体面積9026㎡を取得金額1億3429万9200円で取得するものである。

質疑

問 海岸地区での開発は、文化財等も含め法的手続きについては。

答 東浜地区は文化財保護法に基づく現状変更は文化庁と協議し許可済み又、周りの保安林については県の森林整備課と協議をしている。

問 この避難場所までの道路部分が民地と官地が入りこんでいるが問題はないのか。

答 道路部分については協力は得られているものの車両通行などもあり、現在協議を進めている。

問 避難場所の高低差はどの位になるのか。

答 高低差は、1mも違わないほぼ平らである。
賛成全員・可決

報告
繰越事業54件
内、事故繰越し12件

一般会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

他事業との調整や関係機関との協議等により、平成25年度内完了が見込まないことから、37事業を繰り越した。

介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金については、スプリンクラー整備を行う施設への補助金であり、平成25年度内完了が見込まないことから、事業を繰り越した。

問 平成27年度3月完了のものが13事業あるが、道路の部分などでまだまだ遅れることはないのか。

答 ほとんど測量が終わり、終わったところから地元説明会を開催し、用地交渉に入っている。自宅などがかかるケースで、代替地を探したり、新しく家を建てて引越すなどで遅れている。また、地権者の中に反対者もいるので、その方たちとの話し合いやルート変更により時間がかかっている。

下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

関係機関との調整、用地買収等に時間を要し、平成25年度内完了が見込

めないことから、3事業を繰り越した。

問 県と調整はどのように進んでいるのか。

答 基本的には県の下水道課だが、文化財保護課との調整を優先して行い、県都市計画課と認可変更の協議を同時に行っている。認可変更がおり次第着工になる。

一般会計事故繰越し繰越計算書

主な内容

昨年度繰り越した事業であるが、他事業との調整や関係機関との協議等により、平成25年度内完了が見込まないことから、8事業を繰り越した。

問 根廻幡谷線の工事看板に工期が正しく書いてないようだがどうなっているのか。

答 JRとの交渉、労務・資材等の不足により工事が遅れた。現在、設計変更等の調整をしてももう少し時間がかかる。工事看板の記載についてはしっかりと指導していく。

下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書

主な内容

昨年度繰り越した事業であるが、他事業との調整や関係機関との協議等により、平成25年度内完了が見込まないことから、4事業を繰り越した。

水道事業会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

国道45号線普賢堂地区配水管移設工事については、関係機関との協議に時間を要し、平成25年度内完了が見込まないことから、事業を繰り越した。



松島駅連絡通路

一般会計繰越明許費繰越計算書		
事業名	翌年度繰越額	完了(見込)
復興支援定住促進事業	250万円	平成27年3月下旬
手樽地区復興まちづくり拠点施設整備事業	1億1945万円	〃
松島地区復興まちづくり拠点施設整備事業	1億1113万円	〃
松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業(避難場所)	4232万円	〃
松島地区等復興まちづくり推進事業	1753万円	平成26年9月下旬
本郷地区防災広場整備事業	2339万円	平成26年6月下旬
松島海岸公園避難施設整備事業	870万円	平成26年9月下旬
漁業集落復興効果促進事業	300万円	平成27年3月下旬
松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業(避難場所:石田沢地区)	1億7626万円	平成26年9月下旬
松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業(避難場所:三十刈地区)	1億1651万円	〃
松島東浜地区地区避難場所整備事業	470万円	〃
漁業集落防災機能強化事業(手樽地区)	4億円	平成27年3月下旬
備蓄倉庫整備事業	821万円	〃
旧庁舎解体事業	1718万円	平成26年6月下旬
庁舎松島駅連絡通路整備事業	297万円	平成26年5月下旬
庁舎環境整備事業	360万円	平成26年6月下旬
子ども・子育て支援新制度システム改修事業	810万円	平成27年3月下旬
漁港海岸・海岸保全施設築造事業	8265万円	〃
磯崎漁港共同利用施設復興整備事業	563万円	平成26年6月下旬
富山観音表参道環境整備事業	172万円	平成26年6月下旬
道路維持工事	264万円	平成26年6月下旬
町道手樽・富山駅線外道路整備事業	10億7640万円	平成27年3月下旬
町道高城・松島線外道路整備事業	11億2882万円	〃
町道上竹谷・高城線外道路整備事業	11億9208万円	〃
手樽柿ノ浦地区避難路整備事業	2億1432万円	〃
松島地区避難路整備事業	8324万円	〃
普賢堂外地区避難路整備事業	1321万円	〃
高城・磯崎地区避難路整備事業	9240万円	〃
道路舗装事業	500万円	平成26年6月下旬
根廻磯崎線道路築造事業(磯崎地区)	13億6794万円	平成27年3月下旬
宅地かさ上げ等事業費補助金	100万円	平成26年5月下旬
災害公営住宅整備事業	9億3932万円	平成27年3月下旬
災害公営住宅整備事業(磯崎地区)	942万円	平成26年6月下旬
小学校太陽光発電・蓄電池設置事業	1億2700万円	平成26年12月下旬
農業用施設災害復旧事業	794万円	平成27年3月下旬
公共土木施設災害復旧事業	7億2906万円	〃
集会施設災害復旧事業	438万円	平成26年4月下旬
介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書		
地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金	690万円	平成27年3月下旬
下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書		
国道45号下水道管移設工事	700万円	平成26年5月下旬
松島地区外内水対策事業	4496万円	平成27年1月下旬
公共下水道施設災害復旧事業	6億52万円	平成27年3月下旬
一般会計事故繰越し繰越計算書		
漁業集落防災機能強化事業(手樽地区)	3060万円	平成27年3月下旬
高城コミュニティセンター整備事業	1億4998万円	平成26年6月下旬
漁港施設機能強化事業(手樽地区)	286万円	平成27年3月下旬
町道内町線・内町支線道路整備事業	3407万円	平成27年3月下旬
ウォーキングトレイル事業	1249万円	平成26年6月下旬
松島地区避難路整備事業	1529万円	平成27年3月下旬
埋蔵文化財包蔵地確認調査事業	107万円	〃
公共土木施設災害復旧事業	9580万円	平成27年3月下旬
下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書		
松島町公共下水道事業認可変更設計業務	250万	平成27年1月下旬
国道45号下水道管移設設計業務	1013万	〃
松島地区下水道復興調査設計業務	4500万	平成27年1月下旬
公共下水道施設災害復旧事業	6700万	〃
水道事業会計繰越明許費繰越計算書		
国道45号普賢堂地区配水管移設工事	459万円	平成26年5月中旬

議員
提案で

意見書を3件提出

生活再建に支援を

生活再建に至らない東日本大震災被災者に対する医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免措置に対する財政支援を求める意見書

《要約》

東日本大震災から3年経過した。今なお被災者の多くは将来への不安を抱え、長引く避難生活や日常生活の変化により疲労が蓄積し、体調不良や持病の悪化などにより長期にわたる医療や介護が必要とされている。今、県内市町村では十分な財政手当がない中、医療と介護の減免を再開させている。被災者が安心して医療にかかることができるよう、生活再建に至らない被災者の医療費一部負担金免除と介護保険利用者負担の減免措置に対する財政支援を国等に要望する。



提出先 衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣

厚生労働大臣

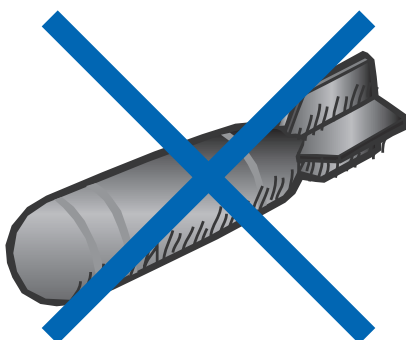
宮城県知事

核拡散は許さない

2015年NPT再検討会議に向けて日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書

《要約》

2015年の核不拡散条約(NPT)再検討会議に向けて核兵器のない世界と安全を達成するため、日本政府は唯一の被爆国として特別の責任がある。そして、世界には今もなお1万7千発余の核兵器が貯蔵配備され、使われる危険は現実に存在する。この状況を打開し、核兵器をなくすためには国際社会が一致して核兵器を全面的に禁止する以外に方法はない。日本政府が核兵器全面禁止条約の必要性とその実現のため努力するよう要望する。



核兵器反対!

提出先 内閣総理大臣

総務大臣

外務大臣

被災地の子どもを守れ

被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金の継続と被災地の小中学校並びに高等学校の教育条件整備等を求める意見書

《要旨》

東日本大震災により被災した子供や保護者がお金の心配なく保育や教育を受けることができる就学支援事業として高校生就学支援事業が実施されているが、27年度以降の事業継続について明確にされていない。また、震災の影響から不登校になったり、問題行動に走る児童生徒がいるが、このような子供たちには心のケアや生活ケアが必要である。

子供たちが安心して教育を受けることができるよう就学支援事業の継続と教育条件整備の充実を要望する。

提出先 衆議院議長

参議院議長



皆さん
からの

陳情

「子ども・子育て新制度についての陳情」

第2常任委員会へ付託

《趣旨》

国は子ども・子育て支援新制度を2015年4月に本格施行するとして新制度実施のための諸準備を早急に進めるよう求めており、市町村は条例の制定や事業計画の策定なども含めて準備する必要があります。しかし、無理な日程で準備が進められれば、市町村における新制度の検討や住民の周知は十分になされず、保護者をはじめ関係者が疑問や不安を抱いたまま新制度が実施されることとなります。

幼い子どもの命に関わる制度の検討は、時間をかけて納得が得られるまで議論を尽くす必要があります。何よりすべての子どもに平等な保育の保障と子育て支援を行う観点から、格差を生じさせない仕組みづくりが重要です。

よって新制度の検討並びに導入、実施にあたっては子どもの権利保障を最優先に考え、更には当事者の意見を踏まえて十分な協議を行い、国に対して必要な意見表明を行うことを求めます。

私たち5団体は、下記のことを陳情いたします。

- 1、児童福祉法24条1項に基づき、安易に認定ことも園への誘導はせず、市町村の子ども子育て支援事業（13事業）については、現行水準を後退させないこと。
- 2、地方単独補助についても保育実施責任が果たせるよう、維持・拡充していただきたいこと。
- 3、保育士の人材確保と保育の質の向上を図るための保育士等処遇改善臨時特例事業の財源を確保し、必要な予算措置をお願いしたいこと。
- 4、すべての子どもの権利を保障する制度とする観点から、十分な議論と準備がおこなわれないままに性急に実施されないよう国に対して要請いただきたいこと。

陳情者

宮城県保育関係団体連絡会
会長 藤崎 隆

全国福祉保育労働組合宮城支部
執行委員長 佐藤 博 英

宮城県社会保障推進協議会
会長 刈田 啓史郎

宮城県保育園経営勉強会
代表 小幡 正子

塩釜地域社会保障推進協議会
代表幹事 斉藤 規夫

平成26年第1回松島町議会臨時会 議案採決結果 (平成26年4月17日)

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※櫻井公一議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	澁谷秀夫	赤間幸夫	櫻井靖	片山正弘	後藤良郎	小幡公雄	高橋幸彦	今野章	太齋雅一	色川晴夫	菅野良雄	高橋利典	阿部幸夫	櫻井公一	賛成	反対
議案第49号	松島町税条例の一部改正	4月17日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第50号	松島町都市計画税条例の一部改正	4月17日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第51号	松島町国民健康保険税条例の一部改正	4月17日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第52号	財産の取得について	4月17日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第53号	工事委託に関する協定の締結について（陸前富山構内富山踏切移設拡幅工事）	4月17日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0

平成26年第2回松島町議会定例会 議案採決結果

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	澁谷秀夫	赤間幸夫	櫻井靖	片山正弘	後藤良郎	小幡公雄	高橋幸彦	今野章	太齋雅一	色川晴夫	菅野良雄	高橋利典	阿部幸夫	櫻井公一	賛成	反対
議案第54号	松島町税条例等の一部改正	6月16日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	-	11	1
議案第62号	工事請負契約の締結（三十刈地区避難場所整備工事）	6月16日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	12	1

賛成全員

議案番号	議案名	議決月日
議案第55号	児童公園の設置及び管理に関する条例の一部改正	6月16日
議案第56号	集会施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	6月16日
議案第57号	指定管理者の指定（高城コミュニティセンター）	6月16日
議案第58号	大郷町の公の施設の設置	6月16日
議案第59号	工事委託に関する協定の締結（高城地区津波避難施設）	6月16日
議案第60号	工事請負契約の締結（児童館建設工事）	6月16日
議案第61号	工事請負契約の締結（石田沢地区避難場所整備工事）	6月16日
議案第63号	工事請負契約の締結（松島町防災まちづくり広場整備工事）	6月16日
議案第64号	工事請負契約の締結（復興まちづくり支援施設建設工事）	6月16日
議案第65号	工事請負契約の締結（屋外多目的広場建設工事）	6月16日
議案第66号	平成26年度松島町一般会計補正予算（第2号）	6月16日
議案第67号	平成26年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	6月16日
議案第68号	平成26年度松島町介護保険特別会計補正予算（第1号）	6月16日
議案第69号	平成26年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算（第1号）	6月16日
議案第70号	平成26年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	6月16日
議案第71号	平成26年度松島町下水道事業会計補正予算（第1号）	6月16日
議員提案第3号	生活再建に至らない東日本大震災被災者に対する医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免措置に対する財政支援を求める意見書	6月18日
議員提案第4号	2015年NPT再検討会議に向けて日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書	6月18日
議員提案第5号	被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金の継続と、被災地の小中学校並びに高等学校の教育条件整備等を求める意見書	6月18日



平成25年度 政務活動費収支報告

一人当たり月額7,000円、年間84,000円 余剰金は町に返還します

(改選前)

(4. 1~12/14)

会派(議員)名	代表者名	所属議員名	交付額	支出	残額(返還額)
草 莽 の 会	高橋 辰郎	高橋 辰郎	59,161円	59,674円	△ 513円
				調査研究費 15,214円 研 修 費 42,960円 資料購入費 1,500円	(返還額0円)
町 民 ク ラ ブ	太齋 雅一	太齋 雅一 色川 晴夫 赤間 洵	177,483円	19,710円	157,773円
				資料購入費 19,710円	
日 本 共 産 党	今野 章	今野 章	59,161円	31,077円	28,084円
				資料購入費 22,360円 事 務 費 8,717円	
公 明 党	後藤 良郎	後藤 良郎	59,161円	0円	59,161円
新 政 ク ラ ブ	阿部 幸夫	阿部 幸夫 澁谷 秀夫 高橋 幸彦 伊賀 光男	236,644円	172,580円	64,064円
				研 修 費 144,600円 会 議 費 1,700円 資料購入費 26,280円	
松 政 ク ラ ブ	片山 正弘	片山 正弘 高橋 利典	118,322円	15,140円	103,182円
				調査研究費 2,000円 資料購入費 13,140円	
緑 山 市 郎			59,161円	63,000円	△ 3,839円
				広 報 費 63,000円	(返還額0円)
佐 藤 皓 一			59,161円	53,070円	6,091円
				調査研究費 38,480円 資料購入費 3,990円 広 報 費 10,600円	
菅 野 良 雄			59,161円	60,830円	△ 1,669円
				資料購入費 13,550円 広 報 費 47,280円	(返還額0円)
小 計			887,415円	支出額 475,081円 交付額相当分 469,060円	418,355円

4月~11月(7,000×8ヶ月)+12月(7,000×14/31)=59,161円×人数分が交付額となる。※草莽の会・緑山市朗議員・菅野良雄議員については、交付額よりも支出額が多いため、交付額により算出。

(改選後)

(12.15~3.31)

会派(議員)名	代表者名	所属議員名	交付額	支出	残額(返還額)
新 生 ク ラ ブ	高橋 幸彦	高橋 幸彦 澁谷 秀夫 赤間 幸夫 菅野 良雄 阿部 幸夫	124,195円	47,950円	76,245円
				資料購入費 10,950円 広 報 費 37,000円	
町 民 ク ラ ブ	太齋 雅一	太齋 雅一 色川 晴夫	49,678円	4,380円	45,298円
				資料購入費 4,380円	
日 本 共 産 党	今野 章	今野 章	24,839円	13,337円	11,502円
				資料購入費 9,495円 事 務 費 3,842円	
櫻 井 靖			24,839円	25,210円	△ 371円
				資料購入費 25,210円	(返還額0円)
片 山 正 弘			24,839円	2,190円	22,649円
				資料購入費 2,190円	
小 幡 公 雄			24,839円	0円	24,839円
高 橋 利 典			24,839円	19,970円	4,869円
				資料購入費 19,970円	
小 計			298,068円	支出額 113,037円 交付額相当分 112,666円	185,402円

12月(7,000×17/31)+1月~3月(7,000×3ヶ月)=24,839円×人数分が交付額となる。※櫻井靖議員については、交付額よりも支出額が多いため、交付額により算出。

合 計			1,185,483円	支出額 588,118円 交付額相当分 581,726円	603,757円
-----	--	--	------------	---------------------------------	----------

交される各委員会

先進地視察

第1常任委員会

『本町の6次産業化の推進について』

農林水産業における一次産品の消費拡大の為に全国の自治体では様々な工夫が展開されている。本町の6次産業化推進の取り組みの参考として先進地とされている岐阜県東白川村、輪之内町、大垣市の三市町村の視察研修を行った。

詳細報告は次号に掲載する予定です。

委員長	高橋幸彦
副委員長	澁谷秀夫
委員	赤間幸夫
〃	太齋雅一
〃	色川晴夫
〃	阿部幸夫



岐阜県大垣市「名水わさび」

第2常任委員会

『介護保険制度について』

27年度に介護保険制度が大きく変わると言われている。

する予定です。

7月1日～3日の日程で先進地とされる石川県加賀市・富山県小矢部市へ視察研修を行った。

○地域密着型サービスと認知症安心ネットについて

詳細報告は次号に掲載

委員長	後藤良郎
副委員長	小幡公雄
委員	櫻井 靖
〃	片山正弘
〃	今野 章
〃	菅野良雄
〃	高橋利典



石川県加賀市「小規模多機能ホームきょうまち」

News

議会報告会は秋!
10月中旬より実施(予定)

東日本大震災復興対策特別委員会

女川原発は 今

震災による復興状況の調査及び復興対策として松島町地域防災計画見直しにあたり、新たに30km圏外であるが、女川原子力発電所を7月8日視察研修を行った。

(主な説明内容)

- (1) 想定していた津波は13・6mに対し13mであった。
- (2) 海岸エリアに重要設備がない設計になっていた。
- (3) 2号機の新規制基準への適合性審査の申請。平成28年4月再稼働目標に向けて。

(今後の活動)

東日本大震災の津波により、被災した仙台火力(仙台太陽光発電所)及び新仙台火力発電所(コンバインド発電・LNG使用)の現状について視察を行う。

○日時 26年8月4日(月)

(委員長 阿部幸夫)



女川原子力発電所 (東北電力提供)

東北放射光施設誘致調査特別委員会

放射光施設の詳細について理解力を深めるべく、専門家の講義を受講する。

○日時 26年8月8日(金)

午前10時～12時

○場所 役場3階議場
講師 宮城大学

地域連携センター教授
鈴木 康夫先生

※傍聴大歓迎です。是非ご参加を！
(委員長 高橋幸彦)

議会活性化調査特別委員会

更なる改革のために

松島町議会の現状をもとに、議会基本条例にうたわれている様々な会議の在り方や、討議等の持ち方について委員会を開催する。

○日時 26年8月8日(金)

午後1時～

○場所 役場3階議場
(委員長 澁谷秀夫)

いつでも傍聴できます

町政 Q & A

一般質問

ココが聞きたい

6人の議員が11件について質問



- | | |
|-------------------------|---|
| 今野 章 議員 (17ページ) | <ul style="list-style-type: none">・今後の街づくりに関連して・今後の下水道等の整備について・災害公営住宅の入居に向けて支援対策は |
| 赤間 幸夫 議員 (18ページ) | <ul style="list-style-type: none">・高齢社会に向けた取組みについて・開発事業に係る水害対策への取組について |
| 菅野 良雄 議員 (19ページ) | <ul style="list-style-type: none">・どう活かす「子ども・子育て支援新制度」 |
| 後藤 良郎 議員 (19ページ) | <ul style="list-style-type: none">・ピロリ菌の除菌で胃がんの撲滅を |
| 色川 晴夫 議員 (20ページ) | <ul style="list-style-type: none">・松島町地域防災計画の見直し（災害時における宿泊施設などの使用に関する協定書）・松島の松枯れ対策について |
| 櫻井 靖 議員 (21ページ) | <ul style="list-style-type: none">・世界で最も美しい湾クラブについて・役場職員の職場環境について |



今野 章 議員

問 今後の街づくりに関連して

答 高城町駅は石巻よりに移動

問 10年後の庁舎建設位置の合意形成は、時間を要すると思う。今後の計画やタイムスケジュールを示すべきではないか。

答 事前に心の準備や考案の整理は必要と思うが、震災復興で新しい町ができる部分もあり、その時期ではないと思う。

問 28年から新長期総合計画15年間が始まる。庁舎の位置は新計画との関係でも重要ではないか。

答 庁舎をある程度使って、その使用感、町の変化といったものを参考に次の場所を決めたい。

問 避難道路の整備と関連して高城町駅の位置やその費用はどうなるか。



高城町駅と拡幅が予定される町道

答 J Rと協議中だが、駅は石巻寄りに移動し広場の確保も検討中である。費用は、出来るだけ支出が少なくなるよう調整、交渉したい。

問 駅の整備はいつ頃までかかるのか。

答 震災復興は原則27年度までだが、2～3年程度の遅れが見込まれる。

問 今後の下水道等の整備について

答 復興の目途がつきしだい整備する

問 公共下水道に未接続の世帯が、接続しない理由を把握し、普及100%へ町の関与を含め戸別の対応が必要ではないか。

答 復興の目途がついた後、啓蒙活動を再開し、ケースごとにピンポイントで普及を進めたい。

問 下水道整備区域内の長田や土樋合、愛宕などに虫食いの未整備地域がある。今後の対応は。

答 長田は整備検討中に震災が発生。愛宕は管理

設スペースがなく、道路拡幅の中で検討したい。土樋合は殆ど合併浄化槽だが、それぞれ、復興の目途がつきしだい調査し、順位をつけ整備したい。

問 くみ取り、単独処理浄化槽等、汚水の未処理人口は三千人余り。水質汚濁防止へ単独処理浄化槽の廃棄処分への補助など対策が必要ではないか。

答 環境浄化のため、何らかの工夫と財政負担が少ない有効な手だてが必要であり、今後、お話の点も参考に進めたい。

これも聞きました

問 災害公営住宅の入居に向けて支援対策は

答 家賃低減と共に転居費用の補助金を支給

問 高齢社会に向けた取組みについて



あか ま ゆき お 赤間 幸夫 議員

一般質問

答 高齢者の方々が心地良いと感じられる施策の創意工夫で取組む

具体的には、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯を対象とした宅配夕食サービスの提供、緊急通報システムなどの生活安心サービス、シルバー昼食会といったかきい等、各種介護予防教室を実施している。特に松島元気塾として65歳以上の介護認定を受けていない方を対象とした

問 本町の高齢者人口比率は年々高くなってきたり、こうした現状を受け町は、どのような対応を展開してきているのか。

答 総括的に、高齢者の方々が心地よいと感じられるようにしていくことが、町の仕事として大事、その為に創意工夫をした取組みをしているところである。

脳トレ、趣味活動、各種講話などを行い、足腰を丈夫に保ち認知症を予防する取組みは効果が高いと実感している。

問 高齢者福祉計画の見直しに向けて、これまでの計画に大きく差が出ている点はないのか。

答 高齢化率が高い割に介護認定者数は推計値を



いつまでもお元気に!

下回っており、計画の範囲の中で推移している。

問 地域包括支援事業の取り組み課題要因はどこにあるのか。

答 地域包括ケア推進の為に医療機関等との連携が必要であり、県全体の課題として取組む必要がある。

問

開発事業に係る水害対策への取組みについて

答

基本的に松島町としての役割分担の中で

問 町内各所において、土取りを目的とした開発事業が進められているが、水害対策が疎かにされているのではないかと懸念している。町としての監視・指導体制は?

問 林地開発許可の条件として防災工事を行うことが前提になるが、特に水害軽減のためには常日頃の監視パトロールが重要になるが、町側のパトロール体制はどうか。

答 開発事業に対しては、法律、ルールの枠組みの中で各担当部分があり、役割分担に基づく指導監督になるが、町の権限外の部分であっても住民生活のためにフォローする部分がある場合は、指導に入ることになる。このことは、開発事業地の内外におよび土砂の搬入搬出路及び流末排水路部分も含むもので、住民の日常生活の不利が最小限になるよう頑張る。

答 人員が不足する中でパトロール体制は町民からの情報等をもとに出来るだけ多くを見るように努める。

問 三陸自動車道四車線化工事に伴う水害助長に対しても現に被害の出ている箇所調査を行い、事業者に対し改善申し入れを行うべきではないか。

答 地域からの申し出が上がった時には見逃さないよう努め、県に対してはお願いをしていく。



菅野良雄 議員

問 どう活かす「子ども・子育て支援新制度」

答 具体的な方針が示されていない



子育て支援センター

問 質の高い幼児期の学校教育・保育を提供するため「子ども・子育て関連3法」が27年4月から運用されるなかで、児童館が建設される。この施設を利用して学童保育を6年生まで延長する考えはないか。

答 今のところ拡大するのは難しい。

問 新制度を活かし、全保育所で特別延長保育を実施できないか。

答 「子ども・子育て会議」の中で議論していただく。

問 幼稚園での一時預かり時間を延長する考えはないか。

答 学校教育法に準じた実施要綱に基づき運営している。

問 新制度は「認定子ども園」を普及しようとしているが、どのように考えているのか。

答 保育所も幼稚園も老朽化しているところが多く、できれば考えたいが、いい施設でない印象もある。

問 病児・病後児保育を実施してほしいとの要望があるが。

答 医療機関の協力がなければできないことで現状では難しい。

問 ピロリ菌の除菌で胃がんの撲滅を

まだ課題があるので現状では難しい

問 25年度の胃がん検診の対象者数と受診者数、受診率はどれ位か。

答 対象者数が5860名、受診者数が1533名、受診率は26・2%である。

現状では難しい

答 二市三町の保健衛生研究会で検討をした。検査方法や検査後の精密検査実施体制の整備等、まだ課題がある。健康診査にピロリ菌検査を追加することは現状では難しい。

問 町民や事業所、各種団体等に広く周知をして、ピロリ菌除菌による「胃がん撲滅」を図るべきではないか。

答 胃がんに限らず、がんが日本人の死亡率の一番である。がん教育の実施や民間企業と連携した啓発活動及び受診推奨などに取り組んでいく。



後藤良郎 議員



ピロリ菌

問

松島町地域防災計画の見直し
(災害時における宿泊施設などの使用に関する協定書)



色川晴夫 議員

一般質問

答

最終計画前に関係者と確認・協議する

【答】 そのとおりである。最終計画前に、確認の意味で話しを聞く必要がある。また、温泉組合とは別途協議する。

【問】 一度も協議されていないとなれば、今回の震災の教訓が生かされていないか。今後のことを含め、新しい防災計画前に協議すべきでないか。

【答】 観光事業者とは協議したが、旅館組合などとはしていない。

【問】 平成20年5月17日に宿泊施設との間で避難施設として、避難者を受け入れる協定書を締結された。東日本大震災後、各ホテル・寺社などと検証含め協議されたか。

【問】 震災の体験により、今後の防災計画は先進地事例(モデルケース)となるよう作成すべきである。

【答】 松島でしか経験していないこともある。責任を果たしていく。



今後見直し策定される地域防災計画

【問】 遊覧船との協定も見直しすべきと思うが。

【答】 避難誘導や復旧で活躍された。今後共、協議していく。

問

松島の松枯れ対策について

答

海鵜被害調査と松枯れ万全期す

【問】 美しい緑の松を残すことは、私達の使命である。現在、県・町あげて取り組まれているが、被害が拡大している。その状況は。

【問】 民地内の松枯れの対応は。個人負担となると、負担が多額となる。町の事業費で対応できないか。

【答】 実態調査し、予算で対応出来るのであれば可能だ。

【答】 以前から議会より指摘されている。温暖化の影響もあるが、震災で2年間対応できなかったことが被害が拡大している。

【問】 特に目立つ被害どこか。

【答】 松島地区はホテル松島大観荘付近・大沢平・霞ヶ浦、そして湯ノ原から石田沢にかけて被害が目立っている。年内中に伐倒駆除する。

【答】 県も解っていないかもしれない。確認し、県及び広域で対策を取っていききたい。

【問】 ウミネコに続いて「海鵜」による松枯れが遊覧船の方々から要望されている。駒島に続いて、鐘島が危険の状況と聞いている。「最も美しい湾クラブ」の中で遊覧コースとなっており、早急に確認し、対策を望む。



さくら い やすし
櫻井 靖 議員

問 世界で最も美しい湾クラブについて

答 観光的の面と町民の方の心の支え

問 世界で最も美しい湾クラブに加盟したのは良いが、どれだけ町民に認知されているか疑問だ。加盟により変化はあったのか。今後どのように考えているのか。

答 加盟により想像以上に反響があったと思ってる。松島湾をPRする良い道具であり、町民一人一人がプライドを持つことができたと思う。観光客や外国人の来訪者については、加盟が原因とは言えないがやや増加している。湾クラブの中身について説明は今後努力していきたい。

問 総会への参加は、費用もかかると思うが毎年参加するのか。

答 今年は加盟したばかりであり、距離が近い韓国で行われるので、6人で参加する。今後は、1年おきや、人数を調整して参加を考えている。



庁舎内にある看板

問 役場職員の職場環境について

答 パワハラ・セクハラはサービスの質にもかわり、しっかり対応をしていく

問 心の病で長期休暇をとってる職員はいるか。事前に防止する施策を何か考えているのか。

答 複数人いる。復帰に際しては、本人の意見を尊重し配置転換とか聞き取りをしている。防止策については、全職員にメンタルヘルスセミナー、ストレスチェックを実施し、希望者にはカウンセリングをしてもらっている。

問 パワーハラスメントなどは起きてないか。防止策は充分か。

答 深刻なパワハラ、セクハラは起きてないと思ってる。管理職は、充分に意識を持って日常的に対応していきたい。

問 威圧的、いかにも命令調な言葉つかいをしてる現場に遭遇し、町民が不快な思いをしたということがあるか。

答 組織の中の社会人として最低限のマナー、言葉づかいには、なお気をつけていきたい。

一般質問

一部事務組合議会報告

宮城東部 衛生処理組合議会

3月24日(月)、平成26年第1回定例会を、宮城東部衛生処理組合議室で開催した。

提出議案は、

- ①職員定数条例の一部を改正する条例
 - ②職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
 - ③職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について
 - ④宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及びそれに伴う規約の変更に関する協議について
 - ⑤宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会を共同設置する地方公共団体の数の減少及びそれに伴う規約の変更に関する協議について
 - ⑥宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及びそれに伴う規約の変更に関する協議
 - ※④～⑥議案については平成26年3月31日に塩釜地区環境組合が解散するため、関係地方公共団体と協議することについて議決を求められたものである。
 - ⑦平成25年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算について、歳入歳出の総額にそれぞれ8722万9千円を追加し、予算総額を9億6337万2千円とするもの
 - ⑧平成26年度宮城東部衛生処理組合会計予算を総額9億4800万円、前年度比10・62%の増である。
- 本町の負担金総額は1億727万2千円でその構成比は15・6%である。
- 以上、提案された議案は、全て原案通り可決された。

組合議会議員

片山正弘 議員
今野章 議員

塩釜地区 環境組合議会

3月25日(火)、平成26年第1回定例会を、塩釜環境組合大会議室で開催した。

提出議案は3件で、いずれも環境組合の解散により宮城県市町村職員退職手当組合等から脱退するもので、審議の結果、原案通り可決された。

なお、業務内容で、生し尿、浄化槽汚泥を合わせた総量が1万241・68tで、前年同月と比較し496・96t、率で46%減少した。塩釜斎場の業務実績は1836件で、前年同月比78件減少した。

組合議会議員

後藤良郎 議員
高橋幸彦 議員

塩釜地区 消防事務組合議会

3月25日(火)、平成26年度第1回定例会を塩釜地区消防事務組合消防本部3F会議室で開催。

〔行政報告〕

塩釜地区消防事務組合と塩釜地区環境組合の再編統合に伴い、規約の変更手続が完了、新体制が始動した。

平成25年、1年間の火災件数59件で前年対比9件増、この内松島町分は8件、前年比2件の増。

救急出動件数は、8157件で対前年比98件、1.2増で松島町分は897件、前年比30件、3.2%減。

平成25年4月から本年2月末日までの要介護認定審査判定状況は、273回の審査会の開催、7969件の審査判定が行われた。

一方、同期間における障害者自立支援障害程度区分審査は、18回で150件の判定が行われた。

提出議案1号から18号については、質疑、討論が無く賛成全員で可決された。

組合議会議員

高橋 利典 議員
赤間 幸夫 議員

女性を生かせ

問 男女共同参画週間の最中である。

答 町は議員全員が男性だが、女性の意見は取り上げられているか。

問 また、町はその方向にあるか。

答 特別な制限はないので、何事にも参加して欲

しいし、その方向で進んでいる。

因みに、教育委員二人、人権擁護委員一人は女性である。6月の定例会では、農業委員一人を議会全員一致で推薦している。

観光客も大事だが生活環境を優先すべき

問 女性団体連絡協議会の会合で、景観条例のVTRを見せられたが、地域住民の生活環境を優先すべきではないのか。

答 電柱の埋設など、どうなっているか。

実際町と協議の上、色など決定されることになった。松島第一小学校前の通りの工事がなされているが、歩道の整備とともに電柱の地下化が国の予算で決まっている。ほかは費用高で仲々難しい。

東京エレクトロクの跡地利用は

答 役場の仮庁舎の話もあったが、建物資産が特殊で高額なため手が出せない状況にある。

少子化対策は

答 縁組を一番に考える。

有意義な90分! 松島町 婦人会

『松島町議会議員と語る会』
6月28日/文化観光交流館

後藤 澄子 会長
他8人の方が活発に発言

芭蕉記念館を作れ

問 松島パークホテルはすごく良かった。今度水族館がなくなる。芭蕉の記念館を作れないか。

答 議員研修で大垣市の「奥の細道むすびの地記念館」を見学して来た。来館者が52万人にもなるという。大垣市との相互交流を含め提案していきたい。

雨水対策が遅すぎる

問 西柳地区の排水対策は、いつ解決してくれるのか。大雨のたびに被災している。

答 西柳のポンプも役立たなかった。

問 新聞発表されたばかりだが、第9次復興交付金の予算配分が決まった。

答 西柳のポンプも役立たなかった。これが使えるが、ポンプ場の用地買収が進まず遅れている。

高城川堤防の改修と合わせ進められると思う。

問 白萩児童公園が水びたしになる。避難所になっているのに手つかずで、トイレも個人が掃除している。用具もすでに使えない状態だ。

答 ほかに、明神の池からあふれる雨水対策は。現状を確認していく事から始めたい。



女性ならではの意見が出されました。



濱田敏幸さん
(高城字城内)

議会は誰のもの

町内では復興に向けて、復興交付金の有効使用により多方面で工事が進行しております。これも議会において先進努力して何を先行すべきか審議と討議を真摯にしての決断で行政側に働きかけた成果であると思っております。

「議会だより」が私たちの目に触れる前に14名の議員が町民の声を聞き実行に至るまで熱心に審議しているのです。私も度々議会を傍聴しておりますが真剣に行政側と対峙している姿勢は

認めます。

町民の皆さんも私たちが選んだ議員の働きぶりや雰囲気傍聴しては如何でしょうか。

「議会だより」は読みやすく、見やすくレイアウトもよく作られていると思います。

議員各位の更なる発展を祈念致します。

7/10
~11

第80回

町村議会
広報研修会

7月10日(木)～11日(金)の日程で、読みやすい議会広報づくりを学ぶため、町村議会広報研修会に参加しました。研修会は東京都千代田区のシェーンバツハ・サボーで行われ、編集等についての講義や各町村の議会だよりのクリニックを通して勉強してきました。

詳細は次号に掲載予定です。



町のホームページから
議会だよりが検索できます!

ホームページアドレス
<http://www.town.matsushima.miyagi.jp/>
議会Eメール
gikai@town.matsushima.miyagi.jp



議会だよりへのせる写真撮
影のために、議員が向きます。
腕章をつけて行きますので、よろ
しくご協力をお願いいたします。

次回9月の定例会は
9月5日開催予定です。
ぜひ、傍聴においで下さい。

議会だより第118号
(5/1発行)の記事訂正

7Pの産業・観光の主なつかい
みち、二行目「信行振興費」→「林
業振興費」と訂正しおわびします。

編集後記

震災から3年4ヶ月が過ぎ復旧・復興への工事が具体的な形となってきた。議事機関である議会が審議の内容や議会活動が町民の皆さんへ適切に情報伝達する手段として議会だよりがある。そんな中、町村議会広報研修会が東京であり広報委員全員が参加をした。「読まれる議会広報誌・読まれない議会広報誌」講演や議会広報誌の編集について講義を受けた。見出しは具体的に的確、訴求力があるか、視覚度や図版率(写真、見出し、図表などの割合)が考慮され、メリハリのあるレイアウトか。全国コンクールで表彰を受けている議会広報誌と比較して見ると、技術的に表現の未熟さを感じた。読み手がその文章を見ながら、どの様に思うか、どのように感じているかを推測しながら、「わかりやすい、読みやすい」広報の編集に努めていきたい。

(高橋利典)

議会広報発行対策特別委員会
委員長 小幡 公雄
副委員長 櫻井 幸靖
委員 赤川 幸夫
色橋 晴夫
高橋 利典
阿部 幸夫